

関係各位

応用生態工学会
会長 占部 城太郎

応用生態工学会 廣瀬ワークショップ助成募集について

応用生態工学会の活動に対して日頃よりご協力ご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。このたび、応用生態工学会におきましては、応用生態工学の発展を実現するため、廣瀬利雄元会長からのご遺贈金を財源とした応用生態工学会 廣瀬ワークショップ助成制度を設けました。

廣瀬ワークショップ助成の対象は、「応用生態工学会正会員及び賛助会員が、応用生態工学の課題探求、学術的発展、それら成果の敷衍を目的として行うワークショップ、シンポジウム、講演会、出版等」です。集会の場合、その規模は問いません。

応募に際しては、別添の「**応用生態工学会 廣瀬ワークショップ助成に関する細則**」を確認の上、以下の要領でお申し込みください。

応募要領

1. 募集期間

令和6年3月1日から4月30日（必着）

2. 応募方法

別添の応募申請書（書式4）に、必要事項を記入の上、PDF化した電子ファイルを、電子メールに添付の上、「eces-manager@ecesj.com」まで募集期間内に提出してください。提出にあたっては、メール表題に「廣瀬ワークショップ助成応募書類」と明記してください。

3. 問い合わせ

電話による問い合わせはご遠慮ください。ご質問等がある場合は、電子メールでお願いします（eces-manager@ecesj.com）。

応用生態工学会 廣瀬ワークショップ助成に関する細則

第 1 条 目的

廣瀬利雄氏の遺志である応用生態工学の発展を実現するため、氏の遺贈金を財源とした廣瀬ワークショップ助成を設ける。

第 2 条 助成の対象

応用生態工学会正会員及び賛助会員が、応用生態工学の課題探求、学術的発展、それら成果の敷衍を目的として行うワークショップ、シンポジウム、講演会、出版等を対象とする。集会の規模は問わない。

第 3 条 助成の内容

助成総額は毎年 50 万円までとする。ただし、理事会の承認があった場合には、この限りではない。

第 4 条 応募方法

助成を希望する正会員もしくは賛助会員の代表者は、応募申請書（書式 4）に必要事項を記入し、別途定める期日までに学会事務局に提出する。

第 5 条 選考委員会

1. 助成の審議・選考は幹事会の下で組織する選考委員会（以下委員会）で行う。
2. 審査に当たっては必要に応じて外部識者の意見を受けることができる。

第 6 条 選考方法

1. 委員会は応募申請書をもとに審査を行う。
2. 委員会の委員が関係する助成対象が選考の最終段階に候補として残った場合には、その委員は最終段階での審議・選考からはずれるものとする。
3. 委員会は、助成対象を選考すると共に、助成金額を査定する。
4. 選考された助成対象は、選考理由を付けて会長に報告する。査定した助成金額の合計が助成総額に満たない場合もしくは選考された助成対象が無い場合も、その旨を会長に報告する。

第 7 条 助成対象及び助成金額の決定

会長は委員会が選定した助成対象及び助成金額について、その賛否を理事会に諮り、有効投票のうち 3 分の 2 以上の賛成がある場合、これを助成対象として決定すると共に、助成金額を決定した上で、直ちに応募者に通知をする。また、助成対象が無い場合には、理事会の承認を受けて、助成対象が無かったことを会員に公表する。

第 8 条 助成金の執行

助成対象者は、通知を受けてから 1 か月以内に予算執行計画を企画運営委員会に提出し、原則として当該年度内に助成金額の範囲内で助成金を執行することとする。正当な理由なく年度内の執行ができない場合は助成を取り消すことがある。

第 9 条 成果の公表

1. 助成を受けて行われたワークショップ、シンポジウム、講演会、出版等を行う際は、それらが廣瀬ワークショップ助成で行われた旨を周知・明記する。
2. それら成果は、応用生態工学会誌等で報告する。報告の様式は問わない。

第10条 特別会の開催

1. 前条までの規定に関わらず、幹事会は助成の周知又は研究成果の公表等を目的として、公開で行う廣瀬シンポジウム特別会の開催を提案することができる。
2. 第1項により、幹事会から提案があった場合には、会長は当該提案について、その賛否を理事会に諮り、有効投票のうち3分の2以上の賛成がある場合、実施することができる。

- (1) 応募者氏名 (ふりがな) _____
会員番号
所属・職名
連絡先住所
電話番号
メールアドレス
- (2) 助成対象名 (集会や出版名など)
- (3) 集会の内容
ワークショップ・シンポジウム・研究会・出版・その他
- (4) 助成の概要 (3行以内)
- (5) 実施日
- (6) 参加者 会員 名、 非会員 名
- (7) 助成希望金額
- (8) 予算の内訳 (予算全体の中での本助成の用途とその内訳を明記すること)
- (9) 研究についての説明 (A4で1枚以上、書式自由)
- (10) 助成により得られる成果など (自由記載)
- (11) 応用生態工学会誌でのレポートもしくは抄録の予定時期

10.5 ポイント以上のフォントで、4ページ以内

提出先 応用生態工学会事務局